

## ジーザックマット使用時の注意事項

- ジーザックマットは**天然素材100%**で人体に有害な原料を使用しておりませんので、安心してご使用いただけます。又、マットは土中にて**100%生分解**するため、残渣となって土中に残りません。しかも**軽量**で**抜群の保水力**により作業効率をアップさせます。
- ジーザックマットは「有機物」のため、土やその他のマットと熱伝導性に違いがあります。素材そのものが毛細管現象で水分を保水するジーザックマットは、熱伝導率に若干の遅れが生じますので「発芽期」「成育期」共に土やその他のマットよりも、それぞれの**期間を多めに**取って下さい。

### 1. 播種前の準備

- 育苗箱の消毒（育苗箱はあらかじめ**消毒**を行って下さい）
- ジーザックマットのセット
  - 1) マットは根通りを良くするため、**粗い面を上**にして育苗箱に入れて下さい。
  - 2) ジーザックマットには、「肥料入り」「肥料なし」「有機」の3種類がありますのでご使用の際はご確認ください。  
尚、「肥料なしマット」「有機マット」をご使用の場合は**施肥**をしてご使用下さい。
  - 3) 苗代育苗の場合は、必ず箱底に**根切シート**などを敷いて下さい。

### 2. 播種から出芽まで

- 灌水：マットは保水力がある分、初期灌水時マット全体に水を含ませる必要があります。水分量としては**約2リッター**が目安ですが、マットへの**灌水にムラ**がありますと出芽のバラツキの原因になります。

#### < 播種機を使用する場合 >

播種機に付いている灌水装置の水分量で足りない場合は、播種機にかける前に必ず予備灌水をして下さい。

#### 【散水方法】

- ・マットをセットした育苗箱を並べ、ホース(シャワー)でマットの**表面が濡れる**まで水をかける。

#### 【浸水方法】

- ・育苗箱にジーザックマットをセットし、水を溜めた容器に**約10～15秒**浸す。

#### 【補助灌水方法】

- ・播種機の灌水量と吸水を補うため、シャワー又はミスト(霧状)の補助灌水装置を播種機に取り付ける。

(注)それぞれの方法において、事前灌水でマットが満水(マットが吸水しなくなった状態)になった時は、播種時の灌水は行わないか、水量を絞って灌水して下さい。  
マットが満水状態で、播種機の水量が多いと、マットの表面に水が溜まり**糸が浮いて移動**する可能性があります。

#### < 播種機を使用しない場合 >

播種機を使用しない場合は、マット全体に水を吸水させる必要があります、前途「散水方法」か「浸水方法」で灌水し、マットを満水にして下さい。(マットに水が吸水しなくなったら満水です)  
【散水方法】

・ホースかシャワーで、マット全体に**ムラなく約30秒程度**水をかけて下さい。

【浸水方法】

・マットを水に浸し、マットから空気の**泡が出なくなるまで**浸して下さい。

#### < ジーザック有機マットを使用する場合 >

ジーザック有機マットは有機専用の原材料を使っていますので、必ず「**事前灌水**」をしてからご使用下さい。

- 播種 : 籽が重ならないよう均一に播種して下さい。籽は目安として**80~150g**程度が適当です。籽が重なると根上りの原因になります(苗どうしの養分、光の奪い合いの原因になります)
- 覆土 : 播種前に準備した土を均一に覆土して下さい。覆土は根上り防止のためマットの上**1cm以上**入れるか、もしくは苗箱のフチの**スリキリ**まで入れて下さい。
- 出芽 : 加温、無加温ともに出芽長が**1.5cm位**が良いでしょう。発芽機による加温発芽の場合は設定温度を **26℃~28℃にし4日程度**の加温をおすすめします。  
尚、高温での加温は根上りの原因になります。

### 3. 緑化・硬化期の管理方法

(緑化に移す目安は、加温、無加温ともに出芽長が**1.5cm位**が良いでしょう)

- 温度管理 : 高温はマットの腐敗及び苗の生育を阻害してしまう恐れがありますので、**昼間は35℃以上**温度が上がり過ぎないように温度調節をして下さい。又、夜間は低温にならないよう、シートをかけるなどして**保温**に努めて下さい。
- 水の管理 : 灌水は2~3日を目途に午前中に**ムラなく**行って下さい。マットは慣行土に比べて**約5倍保水**しますので、マットの保水状況により、灌水間隔を延ばして頂いても結構です。
- 苗代育苗の場合  
苗代内の水を溜めたままにしておくと、水が腐敗しその腐敗がマットに移り、成育を阻害してしまう恐れがありますので、**水を抜くなどの方法**で水を腐敗させないで下さい。  
又、生活排水もマットの腐敗の原因になります。
- プール育苗の場合  
プール内の水を溜めたままにしておくと、水が腐敗しその腐敗がマットに移り、成育を阻害してしまう恐れがあります。**プール内の水を滞留させず**に水の流れを作り続けるなどの方法で水を腐敗させないで下さい。

#### ■ 追肥をする場合

肥料入りマットには1枚当たり分量で窒素・リン酸・カリを各1.5gマットに添加していますが追肥される場合は、苗の生育状況に応じて**1.5葉期頃**にチツソ成分で箱当り**0.5~1.0g**を水に溶かして灌水して下さい。

(注)追肥は生育状況や気象条件等を考慮し行って下さい。又、追肥後は肥料やけしないよう散水して下さい。

#### ■ 根上りした場合

軽く灌水し覆土を落ち着かせ、露出した種籾がかくれるように**再覆土**をして下さい。但し厚蒔き(播種量が200g以上)により根上りした場合は、再覆土しても直らない場合があります。

### 4. 田植時の注意点

■ 田植機にかける場合：田植前にマットが乾燥している時は、**灌水**して滑りやすくして下さい。

以上、ジーザックマットは「有機素材」です。使用方法をご一読の上ご使用下さい！